

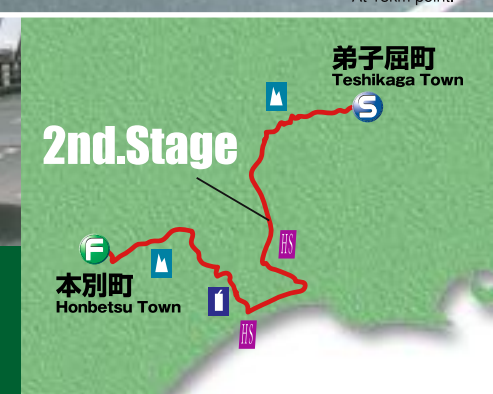
2nd.stage



23km双岳台付近を走行する選手
At 23km point.



18km地点、阿寒横断道路を登る選手
At 18km point.



9/16 fri. 弟子屈町～本別町 第2ステージ ロードレース 177km

巻き返しを狙い弟子屈町スタート直後からの、西谷泰治(愛三工業)、田代恭崇(ブリヂストン・アンカー)による積極的な動きではじまった第2ステージ。1回目の山岳ポイントは盛一大(愛三工業)、エディ・ラッティ(NIPPO)、別府匠(愛三工業)の順で通過。長い下りで3人が抜け出し先頭集団となり、それを追う3人が第2集団を形成、メイン集団が続く3つの集団で展開。そのまま1回目のホットスポットを、マリウス・ヴィズィアック(NIPPO)、佐野友哉(ブリヂストン・アンカー)、大内薫(シマノ)の順で通過する。

後続との入れ替わりなどもあり5人となった第2集団は、その後ペースアップし先頭集団を吸収。学生チャンピオンの三瀧光誠(鹿屋体育大学)が先頭集団を引く。

2度目の山岳ポイントでは、飛び出したキム(韓国)にヴィズィアックが追いつき通過。この2人を先頭に、下りで残りは集団に吸収された。

残り10kmとなった地点でヴィズィアックが単独アタック。後続の集団とのタイム差20秒で独走を続ける。後続も必死に追いつき差を縮めるが、最終的にはヴィズィアックが3秒差で逃げ切り優勝。第1ステージに続き、NIPPOが大会制覇へ大きくリードした。



沿道の声援に送られ弟子屈町をスタートする
Starting zone in Teshikaga Town.



50km地点を走行するメイン集団
Main bunch at 50km point.